



とびら

第45号

2026.2

ようこそ!中能登町議会へ



町たんけん 鳥屋小学校2年生

トピック

- 保育園遊戯室にエアコン設置-12月定例会議補正予算 … 2-3
- 町政を問う 12月定例会議
- 英語以外の外国語の導入を など 9名登壇 …………… 4-9
- 委員会レポート、保育園再編計画など …………… 10
- 初詣参拜者にインタビュー／編集後記 …………… 12

過去の
議会だより



二次元コードを読み取ってご利用下さい。

一般会計補正予算5億5,737万円を可決

12月定例会議 提出議案 条例5件 補正予算7件 その他1件 請願3件 発議2件

12月定例会議が12月5日(金)から18日(木)までの14日間の日程で開催されました。

町立保育園遊戯室 空調設備設置工事

【事業概要】

遊戯室に空調設備を設置し、児童が年間を通じて快適かつ安全に過ごせる環境を令和8年夏までに整備

事業費 3,388万円(財源:緊急防災・減災事業債)

事業内容

- | | | |
|----------|-------|---------|
| ①つくし保育園 | 天吊型6台 | 1,309万円 |
| ②あおば保育園 | 天吊型6台 | 1,125万円 |
| ③こすもす保育園 | 天吊型5台 | 954万円 |

さくら保育園では設置済み

たんぼぼ保育園は令和8年度で廃止となるためレンタル等で対応



委員からの主な質疑と答弁

Q 1台あたりの金額に相違があるのは。

A 電気工事費や諸経費などの違いによるもの。

Q 財源が緊急防災・減災事業債となっているが目的と違うのでは。

A 指定避難所となっており有利な起債を活用する。

中能登町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

令和8年度よりこれまで4～6月に行っていた仮算定徴収を廃止し、7月～翌年3月までの9か月間で1年間分の保険税を徴収することに変更

変更前

4～6月 第1期～ 3期(仮算定)
7月～翌年3月 第4期～12期(本算定)

変更後

4～6月 支払いなし
7月～翌年3月 第1期～ 9期(本算定のみ)

→この変更により1期あたりの支払い額が増加することが予想されます。

討論

提出された議案に対して、議員が賛成・反対の意思をあらわして、議案の成立の可否が決定します。



賛成

**被災者の医療費の一部負担金免除継続を
請願第4号 能登半島地震被災者の医療費の一部負担金免除の再開のための財政支援を求める「意見書」の提出を求める請願に賛成する。**

能登半島地震からもうすぐ2年になるが、復旧・復興が進んでいる中で、人口減・高齢化の加速が増し、残されているのは離れられない・離れたくない高齢者である。最も医療ケアを必要とされている方々にそのケアを受けられなくなるような事態を人為的に起こすべきではない。意見書を提出し少しでも被災された方々の前に向く力になればと考える。



反対

**被保険者の不公平感が増す
請願第4号 能登半島地震被災者の医療費の一部負担金免除の再開のための財政支援を求める「意見書」の提出を求める請願に反対する。**

被保険者のうち、免除の対象となる半壊以上の判定を受けた方は、約2割の被保険者のみで、残りの8割の方は、何らかの被害を受けたにも関わらず、医療費の援助を受けられない状況である。こういった方々に対して同じ保険に加入しているにも関わらず、何の手当もなく、罹災証明の区分による不公平感が増す。

採決の結果

○：賛成 ×：反対 退：退席 除：除斥 欠：欠席
議長は、採決には加わりません。 ※可否同数の場合は議長裁決

議案番号	議案	木下 智治	三浦 克欣	合田 宏	角 久子	澤 良一	吉玉 いづみ	尾田 良一	土本 稔	笹川 広美	南 昭榮	甲部 昭夫	坂井 幸雄	結果 (賛成：反対)
10月随時会議														
議案 第29号	工事請負契約の締結について (令和7年度 令和6年災既設公営住宅復旧事業 金丸住宅復旧工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (10:0)
議案 第30号	和解及び損害賠償の額を定めることについて (倒木による雨樋損傷への賠償)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (10:0)
12月定例会議														
議案 第31号	中能登町乳児等通園支援事業の設備及び運営 に関する基準を定める条例の制定について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (9:0)
議案 第32号	中能登町印鑑条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (9:0)
議案 第33号	中能登町国民健康保険税条例の一部を改正する 条例について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (9:0)
議案 第34号	児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う 子ども家庭庁関係内閣府令の整備等に関する 内閣府令等の施行に伴う関係条例の整理に関する 条例の制定について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (9:0)
議案 第35号	中能登町行政手続における特定の個人を識別する ための番号の利用等に関する法律に基づく個人 番号の利用に関する条例の一部を改正する条例 について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (9:0)
議案 第36号	令和7年度中能登町一般会計補正予算	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (9:0)
議案 第37号～ 42号	令和7年度特別会計補正予算	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (9:0)
議案 第43号	小字の区域の変更について	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (9:0)
請願 第3号	『ひきこもり支援基本法の制定を求める意見書』 の提出を求める請願	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—	○	欠	採択 (9:0)
請願 第4号	能登半島地震被災者の医療費の一部負担金免除の 再開のための財政支援を求める「意見書」の 提出を求める請願	×	○	×	×	欠	×	○	×	×	—	×	欠	不採択 (2:7)
請願 第5号	地方の福祉人材確保の取組に向けた財政措置を 求める請願書	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—	○	欠	採択 (9:0)
発議 第3号	ひきこもり支援基本法の制定を求める意見書	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (9:0)
発議 第4号	地方の福祉人材確保の取組に向けた財政措置を 求める意見書	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—	○	欠	可決 (9:0)



題字 桜鱗氏 (中能登町在住書家)

校長先生にインタビュー



中能登中学校 水谷内 良郎 校長

第5代校長の水谷内と申します。出身地は良川ですが、七尾から通勤しています。

中能登中学校は、開校してから13年目になりました。本校に赴任して、まず全教職員に伝えたことは、どのような状況であっても一人一人の話を最後までしっかりと聞き、丁寧に対応することでした。自分の話をしっかりと受け止めてくれることが実感できれば、安心感を抱くはず。さらに、一つ一つのことに丁寧に対応すれば、安全な学校づくりにつながっていくと考えています。

また、令和5年度から町教育委員会の支援のもとで学校運営協議会が中心となり、学校と町スポーツ協会や各関係機関等との連携が図られるようになってきました。部活動の地域展開をはじめ、授業や各行事での関係機関からのご支援等、地域資源である(ひと、もの、こと)を教育活動に活用しています。生徒が地域の方との関わり合いによって自己を見つめ、生き方等を学ぶことで、社会性も育成していきたいと考えています。

今後も人と人が関わり合いながら、人を育てる学校づくりに取り組んでいきます。中能登町の皆様におかれましては、是非ともご理解とご協力をお願い致します。

一般質問に9人が登壇

尾田 良一議員…………… 5P ・外国語教育 英語以外の外国語の導入を ・家庭内教育 自立心や責任感の十分な育成を	土本 稔議員…………… 6P ・町祭の開催 町祭の復活を求める ・温浴施設 温浴施設整備の現状は	合田 宏議員…………… 8P ・子どもの支援 子どもの意見を行政政策に反映させよ ・フェーズフリー 防災公園の整備は
澤 良一議員…………… 5P ・業者選定 公平性・客観性を担保せよ	笹川 広美議員…………… 7P ・子どもの権利 子どもにやさしいまちづくりを ・防災リーダー 災害支援体制を促進せよ	三浦 克欣 議員…………… 8P ・平和教育 争いのない世界を築くには
木下 智治議員…………… 6P ・戦略的企業誘致 新たな雇用の創出を ・事業承継 行政の積極的な関与が不可欠では	角 久子議員…………… 7P ・子どもまんなか社会 子どもまんなか社会の実現に向けて ・放課後の過ごし方 児童の放課後の過ごし方の充実を	・人生会議の推進 一人暮らしの高齢者への支援は 古玉 いづみ議員…………… 9P ・英語教育 子ども達が自信をもつ英語教育を ・ハラスメント 根絶への取り組みを

一般質問

二次元コードを読み取ってご利用ください。

12月15日午前



12月15日午後



12月16日午前





尾田 良一 議員
おだ りょういち

外国語教育

問英語以外の外国語の導入を

答他の外国語を導入する

考えはない

Q 以前、教育民生常任委員会中学校では英語以外の外国語も学べるようにしては、と提案した。これは欧米の国々ではごく一般的なこととして認められている。英語教育を過度に重視することから生じる弊害を強調する藤原正彦氏の説は注目すべきである。

A グローバルな社会においては英語が必要であると思うし、弊害については、他の教科とのバランスの取れた教育を推進する。また、学習指導要領で外国語科については、英語を履修させることが原則であると示されている。従って、英語以外の外国語を導入する考えはない。

議員のひと言

理想と現実の乖離をまざまざと見せつけられた感じだが、個人的には理想の大切さを層実感した。

家庭内教育

問自立心や責任感の

十分な育成を

答家庭、地域、学校一体で

支援したい

Q 当町に於いても不登校児童生徒や生徒指導上の観点から、現状をどう把握し、どのような改善策があるのか。また、父親の子育てとしつけの関与を促すため、どのような支援を行っているか。

A 子どもたちの責任感を育むことは課題の一つであると認識している。また、授業や学校教育を通して自立心を育む機会を設けていると報告を受けている。次に父親の子育てとしつけの関与を促すために、こども家庭センターでプレママ、パパ教室を実施したり、パパ育児のとびらという冊子を配布し、しつけ意識の啓発を図る。

Q 主体的対話的と言われるが果たして十分か。生徒間の能力差があることを考慮すると十分とは思えないが。

A コミュニケーション能力を子どもたちがいかにつけられるかが大切であるし、そういうことが生きる力のスキルだと考える。



さわ 良一 議員
さわ りょういち

業者選定

問公平性・客観性を担保せよ

答第三者を含めた選定委員会を作る

Q プロポーザル方式の評価者は、全員庁内の課長職で構成されており、外部の第三者が一切含まれていない。公平性・客観性が担保されているのか、なぜ第三者を入れないのか。

A 各業務を熟知している課長を評価者に選任することで、効率的な業務の遂行を総合的評価、判断できると考え、第三者の選任までは必要ないものとしていた。

Q その評価基準はあまりに抽象的で、数値根拠に乏しく、評価者の裁量で結果が左右される構造となっていないか。

A 評価については評価者が事実やデータに基づいて公平・中立な立場で行うものであり、自分の考えや判断に基づいて物事を決定して行われるものではないと考える。

Q 業務遂行能力、法令遵守体制を高く評価して選定をした事業者が、今回、再委託禁止違反を起こし、損害賠償請求に至った。この矛盾をどう説明をするのか。

A 事業者が債務不履行を起こしてしまった点は、甚だ遺憾である。事業者からのプレゼンテーション時点において、今回のような事態が起こることは想定していなかった。今回のことを踏まえ、今後の事業者選定において適切な評価基準を見直すなど、改善すべきところは改善していく。

Q 第三者を加えて評価体制の構築と選定基準の抜本的な見直しを行い、本年度中にその結果を議会へ報告するよう町長の決断を求めらる。

A 指摘されたような業務体制の業務計画の中にリスクリック的なものがないかという点を踏まえて、リスクを見抜けるような体制をつくらなければ駄目であると考え、第三者を含めた選定委員会をつくらうと思っている。司法書士や会計士など、知見を要した人に入っていたら、次のプロポーザルでは第三者委員会も設けて、公平・透明性のあるプロポーザルにしたい。

その他の質問

▼共立ソリューションズへの損害賠償請求と行政の沈黙など



きのしたともはる 木下 智治 議員

戦略的企業誘致

新たな雇用の創出を

労働環境整備を

重点施策とする

Q 若年層のニーズを満たす魅力的な、従来の枠を超えた戦略的な企業誘致策を。

A 若年層のニーズの把握や当町に合った誘致企業の規模などの分析、企業誘致に必要な整備の検討を進め、戦略性のある取組みを検討する。

Q 町と商工会などが協力し誘致対象となる企業に直接出向き積極的に売り込む、もしくは町長自らトップセールスを行う考えがあるか。

A 町にとって必要性を感じた場合には、自らトップセールスもして参りたいと考える。

議員のつらみ

元気に働ける町づくりを

事業承継

町関係機関との連携する

不可欠では

など検討する

Q 専門的な相談窓口を設置し、経営者の承継ニーズを掘り起こすための活動を強化する予定はあるか。

A 対策の必要性が増し、町内事業所の存続に寄与するためにも、今後、関係機関とも連携するなどを検討する。

Q どのような業種を優先的に事業承継していかねばならないと考えているか。

A 基幹産業の繊維産業の重要度は高いが、生活に直結する小売業などの重要度も同様であるので、特定の業種を優先することは考えていない。

その他の質問

▼地域資源を活用した地域活性化について



つちもとみちる 土本 稔 議員

町祭の開催

町祭の復活を求める

町民や団体、地域の主体性を大切に

取り組み

Q 町政20周年記念として音楽祭を開催したが、今後も町祭を望む声もあるが、どう考えるか。

A 町民や団体、地域の主体性を大切にしつつ、財政状況を見極めながら継続可能なイベント開催に向けて創意工夫を重ねる。

Q 行事の併催も検討した上で、町行政の各課がブースを持ち、健康保険課なら健康ブース、危機管理課は防災コーナーなど受け持ち町民参加型を企画してみれば。復興に向けた取組として大事なことは乗り越えるという一体感だと思いが。

A 提案いただいた内容も面白いと思う。来年も開催してほしいとの声も聴く。何かやらなくてはと感じている。

温浴施設

町関係機関との連携する

可能性を含め協議を進める

Q 温浴施設の新設は将来のまちづくりプランの一つである。復旧復興アドバイザー会議の提言であり答える必要がある。現状についてきく。

A 温浴施設が1か所になったことから健康ハウスの無料送迎バスの運行や、新たな事業者を迎え喫茶コーナーを再開するなど、利便性の向上に努めている。総合計画や公共施設等総合管理計画との整合性を図り、町民が健康で生き生きとした生活が送れるよう協議を進める。

Q 震災を経験し温浴施設のありがたさを再認識した。家庭の温浴設備に対し水質についての考えをきく。

A 当町の水道水は水道法に定められた厳格な基準を満たしており、豊富なミネラル成分を含有する良質な飲料水である。しかし給湯器の熱伝導管の中でミネラル成分が固まり、管の閉塞や機器の故障を誘発する要因となり得ると認識している。改善には巨額の費用を要するため、今後も要望活動を展開し、検討を重ねる。



ささかわ ひろみ 議員
笹川 広美

子どもの権利

子どもにやさしいまちづくりを

啓発、環境づくりに取り組む

Q 全庁挙げて、子どもと町民に対する「子どもの権利」についての教育や啓発活動を積極的に推進すべきではないか。

A 学校教育や町人権擁護委員の人権教室、広報誌やパンフレット、ホームページ等での啓発活動を通じて、分かりやすく伝えるとともに、子ども達自身が自分の権利を理解し、日常生活や学びの中で生かすことができる環境づくりに取り組む。

Q 子どものための事業、まちづくりの方針を決定する場などに子ども達が積極的に議論に参加できる仕組み、制度を整備すべきではないか。

A 子ども会議など、子ども達の意見がより一層反映されるよう、意見を聞く場や機会の充実に努める。

防災リーダー

災害支援体制を促進せよ

町民と防災意識向上を進めたい

Q 自主防災組織を牽引する「中能登町防災士連絡協議会」の活動継続のための財政支援を図れ。

A 協議会との意見交換を通して、具体的な支援策を検討する。

Q 当町での「避難生活支援リーダーサポーター研修」の取組みが必要ではないか。

A 災害発生時における避難環境の改善や継続的な地域支援を可能とする新しい人材育成の一助となる有益な取り組みと認識する。この研修を必要な施策と位置付けたい。

議員の一言

誰もが、心豊かに安心を享受できる町をめざして参りたい。

その他の質問

重点支援地方交付金

成年後見制度



町防災士会セミナー



かど 久子 議員
かど 角

こどもまんなか社会

こどもまんなか社会の実現に向けて

啓健やかな成長を応援していきたい

Q 子ども・若者の意見を取り入れていく計画は。

A 未来を担う子ども達のために、何が最も良いか常に考え意見を聞き、その意見を尊重した上で社会全体で成長を応援していきたい。

Q こどもまんなか社会の実現に向けての取組は。

A 趣旨の周知に努め、意識啓発を図ると共に、子ども会議等、他の自治体の事例を参考にし、検討していきたい。

Q 不登校、いじめ、虐待など子どもを取り巻く状況に対し、学校、家庭、地域が一体となって対応するための連携体制は。

A 様々な困難を抱える子どもや家庭の相談に関して、こども家庭セン

ターが中心となり、関係機関と連携を図りながら、子どものSOSをキャッチし、状況に応じてきめ細やかな支援を行う。

放課後の過ごし方

児童の放課後の過ごし方の充実を

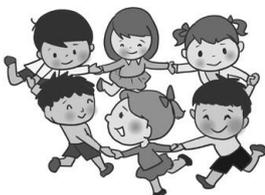
啓交流の場として環境整備に努める

Q 放課後児童クラブ、児童館の利用度と課題は。

A 放課後児童クラブの加入率は小学校低学年66%、高学年31%で、実際の利用者数は平日の二日平均で鳥屋85人、鹿島66人、鹿西45人。課題は児童数の減少に反して、利用者数は増加傾向で、クラブ施設が手狭となっていること。また、児童館は昨年度は年間延べ1万人を超えたが、今年度は昨年度と比較してやや減少。児童数の減少や学校、地域行事、習い事等様々な要因が影響している。利用促進に向け、子ども達が楽しみながら継続して利用出来る工夫を行っている。

議員の一言

室内交流施設の整備を！





ごうだ ひろし 議員
合田 宏

子どもの支援

子どもへの意見を

行政政策に反映させよ

答先進事例などを参考に
検討する

Q 子ども会議を定期的に開催しないか。

A 子ども会議の開催は、子ども達の率直な意見を施策に反映していく上で有意義な取り組みのひとつであると認識している。対象となる年齢層や意見聴取の方法など他自治体の先進事例などを参考に検討していきたい。

Q 既存の意見や提案をどのように収集・整理し、第3期子ども子育て支援計画や政策検討に生かしているのか。

A 就学前の児童及び小学生の保護者を対象にWebアンケートを実施するとともに、子ども子育て会議に諮り、パブリックコメントを実施した上で策定している。

議員のひと言

Webアンケートの中に屋内遊び場が必要との意見・要望があります。早期に実現していただきたい。

★フェーズフリー

防災公園の整備は

答町内全ての公園での設置
は難しい

Q 防災公園の整備に、補助制度を活用することで早期に実現すべきと考えらるが。

A 民間事業者と有効な協定を図り、災害時の相互補完を構築し、巨額な財政負担を伴わないフェーズフリー対策を検討する。

その他の質問

▼おにぎりの日条例の深化と推進
について

★【フェーズフリー】
平時(日常)と有事(非常時)の区別をなくして普段使っているものが災害時にも役立つように設計されたもの。



みうら かつよし 議員
三浦 克欣

平和教育

争いのない世界を築くには

答日々の実践の中で育む

Q 争いのない世界を築いていくために、まず教育長の平和観をきく。

A 差別やいじめ、貧困や孤立といった争いのない世界である。相手の置かれている状況を理解し、その思いを理解しようとするのが大切。日々の実践の中で考え、それを子どもたちに伝えていきたい。

Q 町としてのどのような平和教育が行われてきたか。

A 中学の修学旅行で広島を平和原爆資料館に行き、千羽鶴をささげ、平和の維持について学んできた。

議員のひと言

「逆転しない正義」を子どもたちと一緒に考えていきたいですね。

★人生会議の推進

一人暮らしの高齢者への
支援は

答孤立による不安の解消に
努める

Q 身寄りのない一人暮らしの高齢者の孤独・孤立から守る体制は整っているか。

A 日頃から民生委員や地域福祉推進チームによる見守り活動、また、地域つながりサロンや百歳体操、シルバリーハビリ体操教室等の見守りが行われている。引き続き地域全体で支える意識の醸成を図っていく。

Q 残りの人生をより豊かにする終活支援を加えた人生会議の推進を。

A 終活における意思決定支援は大切なことだが、個人により人生観や健康状態などが大きく異なるため、町が画的な体制を整えることは難しい。引き続き現在行っている「出前講座」等による人生会議の普及啓発に取り組みたい。

★【人生会議】

将来の医療やケアについて本人、家族、医療や介護の専門職と話し合う取り組み。



こたま
古玉いづみ 議員

英語教育

子ども達が自信をもつ 英語教育を

町未来社会を生きたるための 教育を展開

Q 中能登町の英語教育の現状と課題は。

A 県の基礎学力調査の正答率は県平均より高い。英語の勉強が好きか、という質問に対しては中3で県平均を下回り、英語で気持ちを伝える言語活動が十分ではないと考える。課題解決に向けて以下3点を強化する。

- ①スピーチプレゼンテーションの実施
- ②オンライン学習の交流、実用的な場面での活動
- ③成功体験を積み重ねる授業

議員のつとめ

みんなが生き生きとした住みやすい社会形成を！

ハラスメント

根絶への取り組みを

答条例制定を前向きに検討する

Q 町内の事業主へのハラスメント対策、防止策の推進状況は。

A 12月は職場のハラスメント撲滅月間であり、町HPに広く周知を行い、町商工会では商工会回報を通じて、会員へ周知している。

Q 中能登町役場内でのハラスメント報告件数、認知件数、実態把握のために行っていることは。また、ハラスメント防止研修実績、特に管理職以上の研修実績は。

A 報告件数はないが相談や問合せは数件あった。令和5年に中能登町ハラスメント防止要綱を策定し、相談窓口を設置。電話、面談、メール等で相談受付、問題解決に取組む。ハラスメント防止研修は未実施。今年度中に実施する。

Q 今後のハラスメント根絶に向けての取組は。条例制定を。

A ハラスメントの定義と判断基準を明確にし、周知を図ることが重要。条例の制定は、誰を対象として、どのような内容にするかを踏まえ、前向きに検討したい。

オンライン集中セミナー

総務建設常任委員会

～朽ちたインフラと老いたハコモノ 自治体財政を把握する～

受講期間：令和7年7月15日～12月26日 報告者：合田 宏

今回、新たな取組として例年のような先進地視察研修ではなく、オンラインによる研修(全8講座、約20時間)を受講しました。講師の黒瀬雄大氏によるインフラの老朽化と自治体財政の現状を深く理解し、議会における政策提言力と予算監視能力を向上させることを目的とした講義でした。

まず公共施設管理において、老朽化対策は将来世代の負担に直結する最重要課題です。研修では「公共施設等総合管理計画」における総量抑制や長寿命化の実効性を、個別施設計画との整合性から徹底検証する視点を学びました。今後は、施設の統廃合スケジュールやコストパフォーマンスを厳しく問う姿勢が求められます。

次に財政把握については、従来の単式簿記に公会計財務書類(貸借対照表、行政コスト計算書)を加えた多角的な分析手法を習得しました。類似団体との比較や、減価償却費を含む「真のコスト」の算出により、自町の財政構造を客観的に評価することが可能となります。

今後は、これらの知識を予算・決算審議に反映し、計画に基づいた具体的・定量的な質疑を行いたいと思います。また、ストックベースの視点から施設の総量抑制を提言するとともに、専門的な財政データを住民に分かりやすく「見える化」し、財政健全化と施設再編に向けた合意形成を促進します。学んだ分析手法を駆使し、町民の負託に応える質の高い議会活動を展開していきたいです。

耐震シェルター設置事業補助金を新設

総務建設常任委員会

町では現在、住宅耐震化を最優先課題とし、耐震改修や建替えに対し最大310万円を補助する手厚い支援体制が整備されています。今回、この既存制度を補完する新たな選択肢として、「耐震シェルター設置事業補助金」500万円が計上されました。本事業は、能登地域創造的復興基金を活用した令和9年度末までの時限措置で、全面改修が困難な高齢者や低所得世帯を対象に、一部屋分の安全を安価に確保する装置の設置を支援します。対象は所得制限を満たす世帯の木造住宅で、設置費用の3分の2、最大100万円の補助となります。



これにより、「最大310万円の全面改修」と「安価なシェルター」の両輪で、世帯の状況に応じた切れ目のない支援を行い、町民の生命を守る耐震化を加速させていきます。

金丸公営住宅の傾きを修繕

金丸住宅の6棟のうち5棟で住宅の傾きが発生したことから既存公営住宅復旧事業による工事発注を実施し、10月の随時会議で工事請負契約の締結を議会に求めるものとの報告を受けました。

事業費：9,950万円(税抜き)

工事概要：傾斜復旧工

入札日：令和7年10月20日



金丸住宅

こどもまんなか応援サポーター宣言!

教育民生常任委員会

中能登町では秋のこどもまんなか月間に合わせ、11月4日(火)に「こどもまんなか応援サポーター宣言」を行いました。県内自治体では2番目の宣言で、是非やって欲しい!との議会からの声に応えた形です。

こどもまんなか宣言とは、こども家庭庁が提唱しており、子ども達のために何がもっとも良いことかを常に考え、子ども達が健やかで幸せに成長できるように「こどもまんなか」の社会を実現するための宣言です。

中能登町として「こどもまんなか応援サポーター宣言」を行うことで、地域全体で子どもの成長や子育てを応援していく機運の醸成につなげていくものであり、議会としてさらなる具体的な子育て支援策を推進していきます。



町立保育園再編への動きが加速

たんぽぽ保育園の民営化が住民の反対により一旦保留となってから、コロナ禍、震災を経て約10年にわたる協議の後、令和6年10月に保育園再編検討委員会から、速やかに民営化に取り組むよう答申が提出されていました。それを受けて町として策定した中能登町立保育園再編計画が、10月15日の委員会で示されました。

今後は令和8年度の準備期間を経て令和9年4月にたんぽぽ保育園をこすもす保育園に統合し、令和11年4月につくし保育園の民営化を計画しています。統合、民営化によって、より柔軟な保育サービスの提供ができ、統合で年間1,500万円、民営化で年間2,200万円の経費削減の試算となっており、その分を子育て支援策に充当することも期待できます。保護者、住民へのご理解・ご協力を得られるよう、町に丁寧な説明を尽くすことを求めています。



↑ 保育園再編計画、経緯について

議会からのお知らせ

3月定例会議の日程

月	火	水	木	金	土	日
						1
2	3	4	5	6	7	8
			午前10:00 議案上程 提案理由説明 質疑など	午前10:00 教育民生 常任委員会 午後1:30 総務建設 常任委員会		
9	10	11	12	13	14	15
午前10:00 予算決算 常任委員会	午前10:00 予算決算 常任委員会	午前10:00 予算決算 常任委員会				
16	17	18	19	20	21	22
午前10:00 一般質問	午前10:00 一般質問 (予備日)		午後1:30 全員協議会 午後3:00 委員長報告 質疑・討論・採決			
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

定例会議はケーブルテレビ「なかのとチャンネル」で中継します。

みなさんの傍聴を
お待ちしております。



会議等出欠状況

○…出席 ×…欠席 △…早退・遅刻 -…委員外
オ…議長が各委員会にオブザーバーで出席

月 日	議席番号 議員名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		木下 智治	三浦 克欣	合田 宏	角 久子	澤 良一	古玉 いづみ	尾田 良一	土本 稔	笹川 広美	南 昭榮	甲部 昭夫	坂井 幸雄
10月													
1日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	-	○	○	-	-	オ	-	-
15日	教育民生常任委員会	-	○	-	○	-	○	○	○	○	○	-	-
15日	総務建設常任委員会	○	-	○	-	○	-	-	-	-	○	○	×
21日	議会運営委員会	-	○	○	-	-	○	-	-	-	○	○	×
31日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
31日	随時会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
31日	議会行革・活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
11月													
17日	教育民生常任委員会	-	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	-
17日	総務建設常任委員会	○	-	○	-	×	-	-	-	-	○	○	×
26日	議会運営委員会	-	○	○	-	-	-	-	-	-	○	○	×
27日	全員協議会	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×
27日	議会行革・活性化特別委員会	○	○	○	×	○	△	○	○	○	○	○	×
12月													
5日	12月定例会議 初日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
8日	教育民生常任委員会	-	○	-	○	-	○	○	○	○	○	○	-
8日	総務建設常任委員会	○	-	○	-	○	-	-	-	-	○	○	×
9日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
9日	議会行革・活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
15日	一般質問	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
16日	一般質問	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
18日	全員協議会	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
18日	12月定例会議 最終日	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
23日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	-	○	○	-	-	○	-	-

未来の議員“仲間”を増やすために ～「議員のなり手不足に関する報告書」提出へ～

当委員会では、議会活動の活性化を図るため、いろいろな活動を行ってきました。その中の一つである未来に向けて次世代の議員のなり手不足を解消していくため、議員報酬の改定について協議しました。議員間でもその前にすることがあるのではないかと意見もありましたが、今委員会において議員のなり手不足に関する報告書をまとめ、議長に提出いたしました。その後の流れとして、12月18日(木)に議長より宮下町長に要望書として提出され、特別職報酬審議会に委ねられ審議が行われることとなっています。

議会行革・活性化特別委員会

ようこそ中能登町議会へ

令和7年11月4日に長野県箕輪町議会から視察に訪れていただきました。

★長野県箕輪町議会

- ・能登半島地震における被害と概要と行政対応について
- ・発災後の議会対応について



令和7年11月6日に大阪府田尻町議会から視察に訪れていただきました。

★大阪府田尻町議会

- ・能登半島地震における被害状況、復旧・復興状況について



【お詫びと訂正】

議会だより第44号の15ページ下段の掲載内容に一部誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

【正】8月21日(木) 【誤】8月21日(月)



初詣参拜者にインタビュー

1月1日、町内の神社に初詣に来られた皆様に、今年のご目標を書いていただき、町への要望をインタビューしました。

今年のご目標
町への要望



山本さん

えいけん うかること
英語の授業を楽しくしてほしい



山田さん

金ためる
お金がたまる町づくりをしてください



林さん

健康第一
健康でいれる町づくりを!



山田さん

合格祈願
新しいスポーツ施設を!



寺西さん

中能登クラブゆうしょう
都会っぽい町になってほしい



河上さん

勉強をがんばります
映画館が欲しいな



田中さん

算数がんばる
子どもが元気に過ごせる町にしてください



館谷さん

ダイエット本気でがんばります
電子マネー決済還元制度を再度実施してほしい



木下さん

腸の改善
大学の学費を補助してほしい



亀井さん

プールやピアノをがんばります!!
室内で遊べる施設が欲しいです



曾我さん

Improve my English!
みんなが仲の良い町づくりを願います



本橋さん

字をきれいに書く
遊ぶ場所を増やしてほしいです

編集後記

【議会広報特別委員会】

- 委員長 古玉いづみ
- 副委員長 合田 宏
- 委員 尾田 良一
- 角 久子
- 三浦 克欣
- 木下 智治

11月10日(月)に鳥屋小2年の皆さんが「町たんけん」の学習で総務庁舎に見学に来ました。議長とともに議場内を案内し、子ども達には議員席に座ってもらい質問席から質疑応答。「難しい仕事はなんですか?」「どんなお仕事をしていますか?」など純粋無垢な目をキラキラさせて飛んでくる質問に、簡単でわかりやすく伝えるためアニメなどの例えを用いて頭をフル回転。1月29日(木)には授業参観にお招きいただき「町のすてきつたえたい」の発表で見学の様子を伝えてくれました。町のすてきを伝えていける議会でありたい、と改めて感じました。

古玉 いづみ

